

三加和
中学校
学校たより

磨き会

1月12日 金
16限目
新年度の書き初めに挑戦してみよう
書いてもらう

二の目に望むこと...



今年もお返しはすい!

この一年のスタートを切るにあたり、生徒に望むこととして、『積極的な人になって欲しい』

『積極的な人になって欲しい』

という話をしました。というのも、私自身が小さい時から消極的で、人の後ろに隠れながら成長してきた。積極的に動ける人にあこがれ続けていたからです。だから三加和中の生徒には人の前に出たり、目立ったりしなくても、自分の思ったことに対して積極的に動けるような大人になってほしいと思っています。そんな中、今年はいきなり災害の話題から始まてしまいました。数年前の熊本地震や東日本大震災などの時と同様に、『被災者のため、被災地のために何かできることはなにか?』と考えている人も多いと思います。当然時間がたつと、そのときの状況は刻々と変わり、救援の方法や求められる支援も変わっていくので、『できるようにしたら』では時すでに遅し、となってしまいます。私はそういうタイプでした。そんな時、あるボランティアの方から教わった言葉があります。

「そのうちに」とちゅうせしたり、「もう誰かがやってくれるかも」と気後れしたりしたときに、自分に言い聞かせている言葉。それは、『**今がその時、あなたがその人**』です。今思いついて決断しなければ、永遠にその時も、自分の出番もなにかもしくれません。世の中の多くのことが『時』がくれば動きますが、『時』は人を待ってはくれない。『たれかがやるだろう』と思っても、その思ったことは動かないし、動き出したとしても、自分の中に『自分がやればよかった』という後悔が残ります。しかし、自分が動けば『うまくいかなくても、充実感と達成感、自信や経験が得られます。それが人を成長させてくれるのです。』

返信よろしくお願ひします

ことを動かすキ-ワンは、いつだって『あなた』なのです。だからみなさんには、前に出られなくてもいい、めだたなくてもいい、自分の思ったことにまず一歩を踏みだせる積極的な人になってほしいと思います。

大人になっていく君たちへ...

それでは、積極的に動いて、どんな行動?って思いますが、おね?そこで、ディズニーランドのあるスタッフのエピソードを紹介しつね、今回と次回2回にかけてのせておきます。

「私が一番大切なココの授業」
比田知孝著から抜粋

ある日、ディズニーランドのインフォメーションにお母さんが元気な様子にやってきました。実は今日、子供と一緒に来たんです。子供がミッキーちゃんとか、ミニちゃんとかのキャラクターにサインをしてほしいと言っていたので、サイン帳を持ってきたんです。子供は、キャラクターを見つけては、一人一人にサインを書いてもらっていました。そして、あと少してサイン帳が全部うまる、というところでそのサイン帳を失くしてしまいました。落とす物で届けられていないか、と思って来てみたんですが、ありませんか?

そのインフォメーションには、サイン帳は届けられていませんでした。そこで、そのスタッフは13人き所に電話をしてみたんですが、どこにも届けられていないかたんです。そこで、そのスタッフは、サイン帳の特徴を詳しく聞いた後、「いつまでご滞在されますか?」と聞いたそうです。その家族は2日後のお昼には帰る予定はなかったそうです。スタッフはそれを聞いて、「それでは、この後もう少し探してみますので、2日後お帰りになる前にもう一度こちらにお寄りいただけますか」と言ったそうです。そしてお母さんが帰った後、そのスタッフは、さらに細かな部署に電話をかけて聞いたり、自分の足で、駐車場や心当りのある場所を探し回ったそうです。ところがどうしても見つかりませんでした。で、そのスタッフはどうしたかと言うと、

そのサイン帳と同じサイン帳を自分で買って、自分の足で、13人き部署をまわって、キャラクターのサインを全部書いてもらって、当日を迎えたそうです。

当日は、お父さんがやってきました。多分ほっとあきらめていたと思います。スタッフはお父さんに言いました。「申し訳ございませんでした。サイン帳は見つけることはできませんでしたが、でもお客様、こちらのサイン帳をお持ち帰りください。」お父さんがびっくりして中を見ると、キャラクターのサインが全部書いてあるではないですか?お父さんはもちろん大喜びして、「ありがとうございます!!」と持ち帰ったそうです。

.....で、この話はまだ終わらないんです。後日、ディズニーランドにそのお父さんから一冊の手紙が届きました。その内容は... 次号につづく...